公益財団法人
川村文化芸術振興財団
Kawamura Arts and Cultural Foundation

FIRST PATRONAGE PROGRAM 2026

PRESS RELEASE

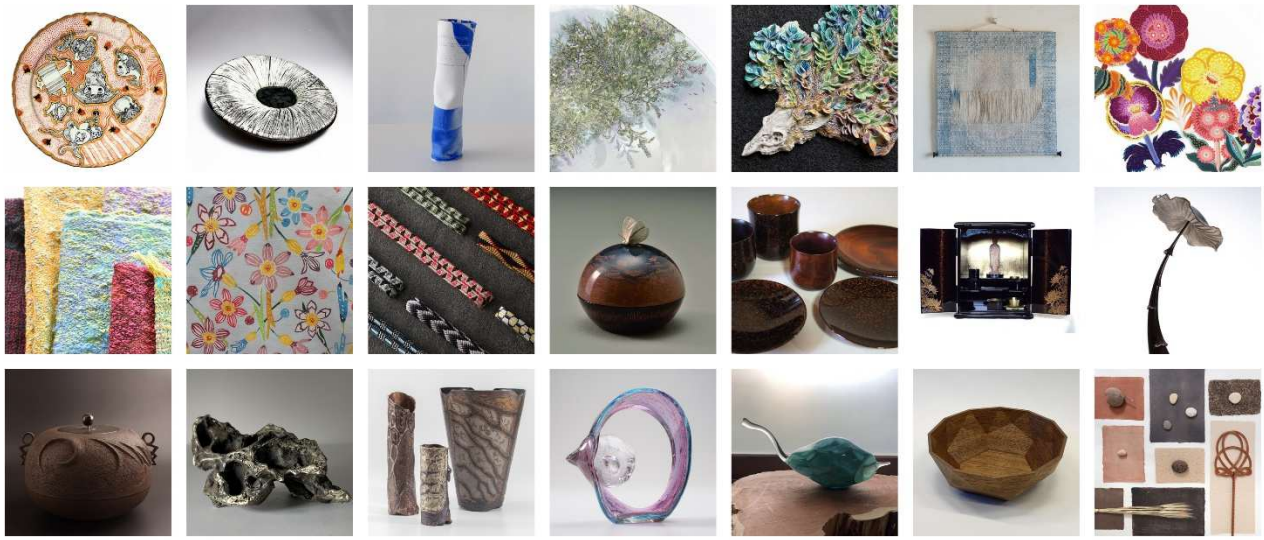
2026 年 11 月吉日

報道関係各位

ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局
公益財団法人 川村文化芸術振興財団

若手工芸作家の最初の一歩を、社会全体で支える活動

『ファースト・パトロネージュ・プログラム 第 9 回 2026 冬』開催



公益財団法人川村文化芸術振興財団（代表理事 川村喜久）は、2026 年 12 月 3 日(木)から 5 日(土)までの 3 日間、東京・丸の内の KITTE 地下 1 階 東京シティアイパフォーマンスゾーンにて「**ファースト・パトロネージュ・プログラム 第 9 回 2026 冬**」を開催します。当財団は"芸術を支えること・参加すること"を振興する理念のもと、若手のつくり手が仕事を続けられる環境が整うまでに長い時間を要する日本の現状を踏まえ、2017 年に本プログラムを立ち上げました。工芸の道を歩み始めたばかりのつくり手にキャリア初期の飛躍につながる機会を届けるとともに、その人を支える応援者を社会に増やしていくことを目的としています。

本プログラムでは、工芸の教育ならびに後進の指導にあたっている方々、工芸産地を擁する自治体から推薦いただき、5 名の審査員、黒田耕治氏（しぶや黒田陶苑）、小山登美夫氏（TOMIO KOYAMA GALLERY）、遠山正道氏（株式会社スマイルズ）、福田朋秋氏（髙島屋京都店美術部）、山田遊氏（method inc.）による厳正な審査を経て選出された 21 名の工芸作家が出展します。

第 9 回を迎える今回は、陶芸、染織、染色、繊維工芸、漆芸、金工、ガラス、木工、和紙の 9 分野より、これからの工芸を担う若手作家たちが集結。会場では、「持って帰れて・使える工芸」を中心に、日々の暮らしに取り入れたくなる作品を展示・販売いたします。また、各作家の個性や表現力が際立つ「魅せる工芸」も展示し、若き才能が生み出す工芸の多彩な魅力を発信します。

開 催 概 要

名　称　：　ファースト・パトロネージュ・プログラム 第 9 回 2026 冬
会　期　：　2026 年 12 月 3 日(木) 14:00～19:00／4 日(金) 10:00～18:00／5 日(土) 10:00～17:00　入場〆切
★プレスプレビュー　12 月 3 日（木）13:00～14:00
プレビュー時間外の取材にも対応可能です。取材をご希望の場合は、事前に添付の「取材申込書」に必要事項をご記入のうえ、ご提出くださいますようお願いいたします。
会　場　：　ＫＩＴＴＥ 地下 1 階 東京シティアイ パフォーマンスゾーン（住所）東京都千代田区丸の内 2 丁目 7 番 2 号
入場料　：　無料・展示即売会

主　催　：　公益財団法人 川村文化芸術振興財団
共　催　：　香川県　長野県塩尻市
協　力　：　一般社団法人 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン（CoJ）

出展作家数：　21 名　**出品ジャンル**：陶芸、染織、染色、繊維工芸、漆芸、金工、ガラス、木工、和紙

PRESS RELEASE

ファースト・パトロネージュ・プログラムの趣旨

2017 年に始まった本事業は、次の点を重視し取り組んでいます。

① 工芸分野で制作活動を始めたばかりのつくり手達にとって「ロケットスタート」になる機会を提供しています。

② つくり手の応援者を日本社会に増やしてゆくことで、文化創造の発展を目指します。

本事業の始まり

芸術を支えること・参加すること"を振興する公益財団法人川村文化芸術振興財団では、優れた技と感性、そして志を持つ若いつくり手たちが、仕事を続けられる環境ができるまで長い時間がかかっている現状を踏まえ、つくり手が育ち活躍していく場を広げるため、これからの日本に「パトロネージュ（支援）の心」を拡げたいと考えこのプログラムを立ち上げました。

本プログラムの仕組み

各方面からの推薦を受け、選考を経た作家たちが作品を出品・販売します。本プログラムでは、作品をご購入いただいた方に、特別な応援者の証である「ファースト・パトロン・カード」をお渡しします。カードには、つくり手からの感謝のメッセージが記されており、つくり手と応援者が末永くつながり、関係を育んでいけるよう後押しします。また、カードを集める楽しみを通じて、支援者のさらなる応援の気持ちを育み、つくり手を継続的に支える関係の構築を目指します。



作品を購入した人が手にできる「ファースト・パトロン・カード」















2025 年：展示会場の様子

PRESS RELEASE








2025 年：来場者に作品の魅力を伝える作家たち

ファースト・パトロネージュ・プログラム(FPP)
これまでの取り組み

ファースト・パトロネージュ・プログラム（FPP）は、2017 年の第 1 回開催以来、若手工芸作家と一般の人々をつなぎ、作品を購入することで作家の活動を応援する機会を創出してきました。

2017 年～2019 年（第 1 回～第 3 回）
東京・丸の内の KITTE を会場に、年末の 2 日間弱にわたり開催。作家自身が会場に立ち、来場者と直接交流するスタイルで実施しました。各回平均約 9,000 人が来場し、平均約 300 件、400 点以上の工芸作品が購入されるなど、多くの方々に若手作家の作品を手に取っていただきました。

2021 年（第 4 回）
2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送りましたが、翌 2021 年、「再開のとき」をテーマにオンラインで開催。新たな形で作家と支援者をつなぐ取り組みを再開しました。

2021 年～2022 年（第 5 回・第 6 回）
3331 ART FAIR（会場：旧 3331 Arts Chiyoda）とオンラインによるハイブリッド形式で開催。リアルとオンラインの双方から作品との出会いを生み出し、90 点以上の作品が購入され、若手作家への支援につながりました。

2024 年～2025 年（第 7 回・第 8 回）
再び KITTE 地下 1 階を会場として開催。工芸・美術分野の関係者やコレクターなど、多彩な来場者との交流を通じて、新たな仕事の出会いや大口注文が生まれるなど、作家の活動の広がりにつながりました。
作品の購入につながる評価のポイントとして浮かび上がったのは、「確かな技巧と素材選び」「美しさ」「独自性」。
2025 年には会期を従来の 2 日間から 3 日間に拡大し、過去最高の売上を記録しました。

2026 年 第 9 回を迎えて
本プログラムは、開催を重ねるなかで、作品展示・販売にとどまらず、工芸に親しむ人々と、これからの工芸を担うつくり手をつなぐ場として発展してきました。本プログラムを通じて、新たな才能が見いだされ、つくり手が研鑽を重ねながら活躍の場を広げるとともに、日本工芸の未来を支える「よき文化の受け取り手」を育むことを目指しています。

PRESS RELEASE

2026 年度 キーコンセプト

①花をめぐる創作（花器、花がモチーフ等）
②新規性に溢れた伝統知の体現者
③使う喜びに溢れた作品のつくり手



ファースト・パトロネージュ・プログラム 第 9 回 2026 冬
ジャンル別 出展作家一覧（21 名）

No.	作家名	作家名/ローマ字表記	呼称	推薦者		制作地域
【陶芸】5 名						
1	荒木 いちご	Araki Ichigo	陶芸作家	宮永 春香	金沢美術工芸大学	石川県
2	詹 凱婷	Sen Kaitei (Chan Kaiting)	陶芸作家	大井 真希	金沢卯辰山工芸工房	石川県
3	高橋 朋也	Takahashi Tomoya	陶磁器作家	駒井 正人	多治見市陶磁器意匠研究所	岐阜県
4	藤木 美里	Fujiki Misato	陶磁器作家	若杉 聖子	京都市立芸術大学	石川県
5	南 紗貴子	Minami Sakiko	陶磁器作家	川浦 由華	石川県立九谷焼技術研修所	石川県
【染織・染色】5 名						
6	鈴鹿 萌子	Suzuka Moeko	染織作家	繁田 真樹子	京都芸術大学	京都府
7	なかむら ずい	Nakamura Zui	染色家・画家	佐藤 碧	金沢卯辰山工芸工房	石川県
8	林谷 美香	Hayashiya Mika	染色・縫布作家	深井 聡一郎	東北芸術工科大学	山形県
9	藤野 あさぎ	Fujino Asagi	染色作家	荒 姿寿	女子美術大学	東京都
10	松島 康貴	Matsushima Kouki	組紐作家・ディレクター	平岡 正博	三重県組紐協同組合	三重県
【漆芸】4 名						
11	金澤 櫻子	Kanazawa Sakurako	漆芸作家	住谷 晃一郎	香川県政策部文化振興課	香川県
12	木村 正風	Kimura Masakaze	漆芸家	小森 邦衛	石川県立輪島漆芸技術研修所	青森県
13	藤枝 政和	Fujieda Masakazu	金沢仏壇 蒔絵師	山田 晃輔	金沢仏壇商工業協同組合	石川県
14	矢作 玲乃亜	Yahagi Renoa	漆芸家	笹井 史恵	京都市立芸術大学	京都府
【金工】3 名						
15	江田 朋哉	Eda Tomoya	釜師	長野一艸庵	(二代 長野垤志)	栃木県
16	倉坪 杏奈	Kuratsubo Anna	クリエイター	畠山 耕治	金属作家	富山県
17	佐川 和暉	Sagaw Kazuki	金工作家	古田 航也	金沢卯辰山工芸工房	石川県
【ガラス】2 名						
18	今田 莉野生	Imada Rinoi	ガラス造形作家	保木 詩衣吏	金沢卯辰山工芸工房	石川県
19	若色 正太	Wakairo Shota	ガラス工芸作家	本郷 仁 宮本 崇輝	富山ガラス造形研究所	長野県
【木工】1 名						
20	崔 錬秀	Choi Ryeonsu	木工作家	中川 周士	中川木工芸	滋賀県
【和紙】1 名						
21	内田 海宇	Uchida Myu	紙漉工芸家	深井 桂子	Keiko Art International	高知県

PRESS RELEASE

貴媒体を通じて本イベントを広く関係各方面にお知らせいただきたく、掲載・報道へのご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。また、誠に恐縮ではございますが、記事としてご掲載いただいた際には、ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局までご一報いただけますと幸いに存じます。

- 紙媒体の場合
  掲載紙（誌）を 1 部、事務局までご郵送くださいますようお願いいたします。
- WEB メディアの場合
  掲載ページの URL を事務局までお知らせください。

掲載用の写真素材もご用意しております。ご質問やご不明な点がございましたら、下記の取材窓口までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局
公益財団法人 川村文化芸術振興財団
一般社団法人 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン(CoJ)

■主催者・本事業に関するお問い合わせ
公益財団法人 川村文化芸術振興財団
担当：事務局 小坂
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-15-2 新神田ビル 3 階
TEL：03-5295-2120　E-mail：info@kacf.jp
http://www.kacf.jp/

■本プレスリリース・広報取材に関するお問い合わせ
ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局
一般社団法人 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン(CoJ) 内
担当：事務局 鈴木
〒104-0061 東京都中央区銀座 4-3-6 G4 BRICKS BLD. 7 階
TEL: 03-6228-6454　FAX: 03-6228-6750　E-mail: fpp.info@thecreationofjapan.or.jp
http://thecreationofjapan.or.jp/

川村文化芸術振興財団の各 SNS アカウントでは、FPP の最新情報や出展アーティストの紹介を随時発信してまいります。ぜひ、あわせてご覧ください。

■ファースト・パトロネージュ・プログラム公式サイト
https://fpf.kacf.jp/

■ファースト・パトロネージュ・プログラム公式 SNS
Facebook　https://www.facebook.com/kacf.jp/
Instagram　https://www.instagram.com/fpp.kacf/
X　https://twitter.com/kacf2017

会場から Instagram LIVE 配信を実施！

日時：2026 年 12 月 3 日（木）19:15〜
配信アカウント：FPP 公式 Instagram

※配信内容の詳細は公式 Instagram にて
お知らせします。





ファースト・パトロネージュ・プログラム事務局
一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン 事務局内（担当：鈴木宛）

【FAX】03-6228-6750
【E-mail】 fpp.info@thecreationofjapan.or.jp

取 材 申 込 書

ファースト・パトロネージュ・プログラム 第 9 回 2026 冬

日 時：
◆2026 年 12 月 3 日㈭ 13:00～14:00 / プレスプレビュー
14:00～19:00 / 一般会期
◆2026 年 12 月 4 日㈮ 10:00～18:00 / 一般会期
◆2026 年 12 月 5 日㈯ 10:00～17:00 / 一般会期

会 場： ＫＩＴＴＥ 地下 1 階 東京シティアイ パフォーマンスゾーン

貴媒体名

部 署＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

取材者ご氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（住所）

（電話）

（E-mail）

ご希望の取材日時＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

◆ 2026 年 11 月 30 日㈪までにご提出ください。

【通信欄】